

季刊

青春本棚通信

第
25
号

2022
秋

LINEUP

◇ビブリオバトル in 読書の秋！

第9回 松山市立中央図書館ビブリオバトル

中学生・高校生のバトル参加者を募集します！

◇図書館ってどんなところ？ Vol. 2 レファレンス室のヒミツ

◇青春ひとことLINE ~ 図書館の人にきいてみた ~

◇本好きのコーヒブレイク ~ 食欲の秋 ~

◇図書館ダンジョン・エクスプローラー ~ 秘蔵図書探索 ~

◇図書館投稿のススメ ~ 青春本棚で投稿を紹介してみよう ~



第9回松山市立中央図書館ビブリオバトル開催！

バトラー 発表参加者さん、大募集！！

毎年恒例の『松山市立中央図書館ビブリオバトル』を10月29日(土曜日)に開催します。
発表参加者は、中学生と高校生から募集します。観客の前で発表し、観客を含めた参加者全員の投票によってチャンプ本を決める、本格的なビブリオバトルです。初めての人でも大丈夫！大好きな本への想い、この機会に熱く語ってみませんか？ぜひお申込みください！

- 日 時： 10月29日(土)午後1時～(予定)
- 場 所： 松山市湊町7丁目5 松山市総合コミュニティセンター1階展示室
- 対 象： 松山市内在住または在学の中学生・高校生
- 定 員： 中学生の部・高校生の部 各部6名程度（応募多数の場合は抽選）
- 応募期間： 9月14日(水)～10月14日(金)
- 申込方法： 中央図書館事務所までEメール、郵送（10月14日必着）、FAX、各図書館窓口のいずれかへ、氏名・住所・電話番号・学校名（学年）・発表本をお申し込みください。個人・学校のどちらからでもお申し込みOKです。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止になる場合があります。

【ビブリオバトルのお申込・問い合わせ先】

中央図書館事務所 担当：小池、河村（※Eメールは件名に「ビブリオバトル参加申込」と入れてね）
電話：943-8008 FAX：933-9968 Eメール：lib-ev1@city.matsuyama.ehime.jp

ビブリオバトルをやってみよう！



ビブリオバトルは友だち同士で気軽に楽しめる『本の紹介コミュニケーション』ゲームなのじゃ！ルールは下のとおりカンタン！
ゲームの勝ち負けの楽しさだけでなく、5分で本を紹介するプレゼン能力も上がるし、友だちの好みを知ったり、新しい本との出会いもあるゾイ！

ビブリオバトル公式ルール

1. ひとり1冊ずつオススメ本を持って集合！

本のテーマは原則自由。ただし「食べものの本」など各バトルで設定してもOK。同じく本の種類も制限可。（コミックや雑誌などはNG）大事なことは、必ず自分が読んで選ぶこと！

2. 開戦！順番に制限時間5分でオススメ本を紹介します。

バトラーの持ち時間は厳守！5分を過ぎたら発表終了だよ。資料は用意せず、バトラーも本だけ持っていざ勝負！原稿を読むより自分の言葉で生き活きと語れば皆の心に響くよ（台本はナシです）。バトラーのほかに発表を聞いて投票する観覧者がいても盛り上がるよ！

3. それぞれの発表の後に、制限時間2分でディスカッション（質疑応答）します。

バトラーの揚げ足をとったり批判はしないで。分からなかったり気になったことを全員で聞いてみよう。

4. すべての発表が終わった後、全員で「どの本が一番読みたくなったか？」の投票をし、最も多く票を集めた本が「チャンプ本」の栄誉を勝ち取ります！

全員で1人1票。バトラーも投票できるよ。でも自分の作品には投票しないこと！



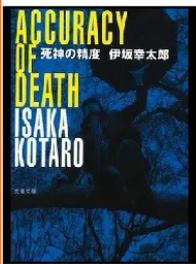
ビブリオバトルで取り上げられたのは、どんな本？

松山市立中央図書館のビブリオバトルも、今回で何と9回目。今までに、どんな本が取り上げられてきたのかな？と調べてみました。すると…

第1～第8回までにバトラーの皆さんが紹介したのは全部で**74作品**！ほぼ被りなしです。ジャンルはやはり圧倒的に**小説(59作)**が多く、中でも**エンタメ系(43作)**が最多。次いでライトノベル系(8作)、純文学(4作品)となっていて、小説の存在感を感じました。さらに、そのエンタメ系小説の作家別にみても、次のような結果になりました！バトラーさんに一番多く取り上げられた作家さんは…誰だ！？(口の中が回数です)

3回

伊坂 幸太郎



もともと幅広い年代に人気の作家ですが、松山市立中央図書館のビブリオバトルでも大人気ということが証明されました！バトラーさんたちがオススメしたのは、『**アイネクライネナハトムジーク**』(幻冬舎)/『**死神の精度**』(文藝春秋)/『**残り全部 バケーション**』(集英社)の3作品。

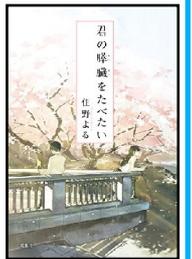
皆さん、続きが気になる、読むのが止まらない等の感想を言われています。一度読みだしたら最後まで！というのが、伊坂さんの魅力かもしれません。



3回

住野 よる

伊坂幸太郎と同数だったのが住野よる。この方はホントに中学生・高校生からの人気が強いですね。青春本棚のひとつとカードでも、住野よるが好きという投稿が多いんです(小学生にも人気)。



『**君の臍臓をたべたい**』(双葉社)/『**また、同じ夢を見ていた**』(双葉社)がビブリオバトルで紹介されました。実は、この『君の臍臓をたべたい』は2回とりあげられています(別々の回でした)。同じ本でも、好きなポイントや感想が違うので、聞いていて楽しかったです。



また、同じ夢を見ていた』(双葉社)がビブリオバトルで紹介されました。実は、この『君の臍臓をたべたい』は2回とりあげられています(別々の回でした)。同じ本でも、好きなポイントや感想が違うので、聞いていて楽しかったです。

2回

森見 登美彦

森見さんは、独特のポジションにいる作家ですが、ビブリオバトルで取り上げられた作品～『**森見登美彦の京都ぐるぐる案内**』(新潮社)/『**新釈 走れメロス**』(祥伝社)は、まさに森見さんのポイント～「京都」「太宰治大好き」～を突いたものだと思います。



森見登美彦は、読むととても楽しいので、ぜひ、ご一読をおすすめします！

2回

宮部 みゆき

多作&分厚い本が多い宮部みゆきの作品の中でも、長編&大長編、

『**英雄の書 上下**』(毎日新聞社、他)/『**模倣犯 全5巻**』(新潮社、他)

が紹介されました。ファンタジーと推理・サスペンスものという全くジャンルの違うものでも、読み手をゲイガイひきつけて離さないところが、人気の秘密なのかも。



2回

有川 浩

『**図書館戦争**』(アスキー・メディアワークス、他)/『**塩の街**』(メディアワークス、他)という初期の代表作2作品が挙げられました。どちらも映画やマンガになっているもので、タイトルを聞いたことがある人も多いかもしれ



れません。数年前に【有川ひろ】に改名したので、最近の作品を読みたい場合はこちらの名前で探してみてください。

いかがでしたか？あなたの好きな作家さんは、この中に入っていたりしましたか？それでは、

今年は、どんな作家さんがオススメされるのか？

10月29日(土)の第9回ビブリオバトルが、非常に楽しみです！

図書館ってどんなところ？

Vol. 2 レファレンス室のヒミツ

図書館の裏側をご紹介しますシリーズ「図書館ってどんなところ？」第2回目は「レファレンス室」をご案内します！

“レファレンス”とは、皆さんからの相談を受けて、調べ方を案内したり、調べものに必要な資料を探すお手伝いをする事です。各図書館のカウンターでも相談を受け付けていますが、特に中央図書館の2階には独立したレファレンス室があり、調べものに役立つ資料を揃えて皆さんのご相談に対応しています。



百科事典やいろいろな分野の事典、統計、白書、専門書、郷土に関する資料や新聞などさまざまな資料があり、必要な箇所はコピーもできます。インターネットや新聞記事などのデータベースが利用できる端末もあります。

ぜひ一度、レファレンス室に来てみてください。皆さんの知りたい事に関するヒントが見つかるかもしれません！